

表紙 広報ふじみ 平成 30 年 2 月号 No.575

富士見町有害鳥獣対策の現状

【お問い合わせ先】 産業課 農林保全係 【電話番号】 62-9222

住民税・所得税 申告情報（第 3 回）

【お問い合わせ先】 財務課 町民税係 【電話番号】 62-9122

浄化槽の法定検査が変わります！

【お問い合わせ先】 公益社団法人 長野県浄化槽協会 【電話番号】 026-234-7637

NHK 海外たすけあい募金へご協力ありがとうございました

日本赤十字社富士見町分区、富士見町赤十字奉仕団より

【お問い合わせ先】 住民福祉課 社会福祉係 【電話番号】 62-9144

20 歳の歯科健康診査は 2 月まで！

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 【電話番号】 62-9134

平成 30 年度健（検）診等の申し込みについて

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 【電話番号】 62-9134

国保だより 国民健康保険にご加入のみなさんへ

【お問い合わせ先】 住民福祉課 国保年金係 【電話番号】 62-9111

年金だより 国民年金保険料の納付は、口座振替がお得です

【お問い合わせ先】 岡谷年金事務所 【電話番号】 23-3661 または 住民福祉課 国保年金係 【電話番号】 62-9111

「食育推進チーム」だより

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 【電話番号】 62-9134 (担当) 町保育園 栄養士

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

富士見教育委員会だより 第 146 号

平成30年2月1日発行 富士見町教育委員会編集 【電話番号】 62-9235

kodomo@town.fujimi.lg.jp

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

くらしの情報

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

平成 30 年度市民農園利用者募集

【申込】 【お問い合わせ先】 富士見町農業委員会事務局 【電話番号】 6 2 - 9 2 3 4

消費者見守り情報 No.84

【お問い合わせ先】住民福祉課 住民係 【電話番号】62-9112 茅野市消費生活センター 【電話番号】72-2101（内線 256）
長野県中信消費生活センター 【電話番号】0263-40-3660

住民だより 1月

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

こんにちは地域包括支援センターです

地域包括支援センター 【電話番号】62-8200

2月の納税等

【お問い合わせ先】財務課 収納係 【電話番号】62-9123

親と子の健康ガイド2月(2月11日から3月10日)

【お問い合わせ先】住民福祉課 保健予防係 【電話番号】62-9134

諏訪地区小児夜間急病 センター 〈年中無休〉

診療時間：午後7時～午後9時

診療科目：小児科 15歳以下

住所：諏訪市四賀2299-1（平安堂諏訪店駐車場・かっぱ寿司の奥）

【お問い合わせ先】54-4699

くらしのガイド 2月（2月1日から3月10日）

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

News Fujimi まちの「話題」や「イベント」をご紹介します

河川の危険個所を視察 12月19日（火曜日）

富士見町建設業協会加盟10社、諏訪建設事務所、町建設課により町内河川や水路の危険個所の視察を行い、現況を確認し安全対策について検討しました。

町図書館 新春イベント開催 1月4日（木曜日）

平成30年の新春イベントがコミュニティ・プラザで行われました。獅子舞や琴の演奏、甘酒と抹茶が振る舞われ、お正月の雰囲気になりました。

富士見町消防団出初式 1月7日（日曜日）

消防団員およそ250名が参加し、役場駐車場で出初式が行われました。町長らの観閲、分列行進、第1分団と第3分団によるはしご乗りなどが行われ、大勢の見学者が見守りました。

新春子ども書き初め大会 1月4日（木曜日）

今年もコミュニティ・プラザ大会議室で書き初め大会が開かれ、たくさんの力作が生まれました。小学3年生の小林君と檜木君が渾身の一枚を見せてくれました。

成人式 1月7日（日曜日）

コミュニティ・プラザで成人式が行われ、新成人117名が参加しました。式典では名取町長をはじめ、来賓、恩師からたくさんのお祝いや激励の言葉を贈られました。新成人を代表し、久保啓悟さん、カテザニャーシャさんが、これまでの感謝と成人としての決意を述べました。

Stay Smile（ステイ・スマイル）

農業の未来へ向かって 新たな力 町新規就農支援事業

富士見町の皆様、こんにちは。私は平成29年から立沢でトマト栽培を開始しました。農家

になってもうすぐ1年が経とうとしています。出身は大阪。都会に生まれながら山や川で遊ぶことが好きで、大学生の頃にマウンテンバイクに乗り始めました。富士見町には日本一のマウンテンバイクコースである富士見パノラマがあり、自転車に乗る人にはとても有名な町です。またすそ野が広い八ヶ岳は、なだらかに広がる森林域があり、多くの動物や野鳥に出会うことができます。そういった豊かな自然に魅了されて富士見町で活動することを決めました。

さて、農業を始めたきっかけですが、自然の中でできる職業に就きたいという思いと、自分のこだわりを反映できるものづくりがしたいという思いの掛け合わせと言えます。高原の涼しい気候を活かして、甘く、旨いトマトを作ることを目標にして栽培にチャレンジしています。一年間、農家として過ごしてみて、お客様から味について褒めて頂ける時が一番やりがいを感じました。まだまだ畑の状態をコントロールできていない事が今後の課題と感じています。難しい問題は頻繁に起こりますが、アドバイスをくださる先輩農家の方々や新規就農者を暖かく迎え入れて頂けるこの町の皆様に感謝しております。「富士見町のトマトっておいしいね!」と言ってもらえる様、農業をしていきたいと思えます。

いざその時 災害から身を守る

【お問い合わせ先】 総務課 防災危機管理係 【電話番号】 62-9326

【看板設置推進の趣旨】

富士見町は東海地震防災対策強化地域に加え、平成26年3月に、南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定されており、糸魚川静岡構造線による地震も含め、大規模な地震の発生が懸念されています。また、近年は、異常気象により全国各地において、局地的な豪雨や超大型台風等による河川の氾濫や土砂災害等も多発しており、町民の安全安心を確保するための避難体制の整備は、重要な課題となっています。そこで、看板を設置し、地元住民の方をはじめ観光客等の来訪者の方にも、災害発生時における地域の避難場所を周知することで、避難体制の整備推進につながるものと期待しています。

【看板設置の方法】

町内事業所の皆様に電柱取付型避難場所誘導看板（有償）の スポンサー企業となっただけにより、電柱への看板設置を実施します。電柱取付型避難所誘導看板の設置については、中部電力グループの中電興業株式会社が事業所等を訪問し、趣旨や看板の内容説明等をさせていただきます。

事業所の皆様には、この取り組みにご理解とご協力をよろしく申し上げます。

看板設置相談窓口 中電興業（株）松本営業所 【電話番号】 0263-35-2645

こんにちは。『地域おこし協力隊』です！

地域おこし協力隊の高橋知子です。移住して、1年が経過しました。観光係でがんばっております。一年富士見町で生活をして、富士見町の良さを私なりに発見できたように思います。冬の路面凍結は怖いですが（笑）、この町はとても優しい。山も景色も人も、カツカツしていなく、どれをとっても“ゆるり”としている印象です。この町に移住できて良かった！ どのようにしてこの町の良さをPRすれば良いのか、ニュアンスを伝えるのは簡単なことではないように思います。

観光PRって本当に難しい！何かのきっかけで、瞬く間に知名度が上がってしまうこともありますね。自分ができることをやろうと再度しめ縄を締め直しているところです。頼りになる仲間（観光係）の知識や情報に、移住者から感じる富士見町をプラスしていきたいと思います。

ゆるりとした富士見町の空気感やあたたかさを写真や動画で表現できるのが、私のことです。もう冬は始まってしまっていますが、「ゆるり信州。富士見町」をキャッチコピーとしたPR活動が始まります。町の皆さんからのご協力やご相談をさせていただくこともあるかと思えます。どうぞお力をかしてください、よろしく願い致します！

子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で 子どもの場所から

【お問い合わせ先】NPO法人ふじみ子育てネットワーク 【電話番号】62-5505

野外保育への関心

昨年は、野外保育（自然保育、森のようちえんと同義）への関心が一気に高まった年でした。長野県は、幼児が自然の中で主体的に過ごす経験が、子どもの思考力、想像力、コミュニケーション力、行動力、忍耐力、運動能力の基盤を作るという考えのもと、幼児教育や保育の場への自然体験活動の導入を全国に先がけて推進しています。その取り組みが今、全

国の自治体から注目を集め、長野県の野外保育園への見学、視察が増えています。

ふじみ子育てネットワークが運営する「野外保育森のいえ“ぽっち”」にも、多くの方が視察、見学、体験に来られました。小さな子を持つ保護者の見学、町内外の民生児童委員の視察などに加え、目立ったのが行政関係者の視察と幼児教育・保育を学ぶ学生の実習希望の多さでした。遠くは北海道から、市議が来られた自治体もありました。特に秋以降、月によっては毎週のように受け入れていました。

日本の若者の自己肯定感の低さ、未来へ希望が持てない割合の多さと、幼児期の教育・保育の質の関連が研究者や実践者に指摘され始めてから随分と年数も経っています。そんな中、「子ども主体の自然体験」を軸に据え子どもの育ちを考える野外保育に賛同する人も増えてきました。野原や森に子どもたちをただ放りだし、野生のままに育てていると誤解を受けやすい野外保育ですが、実は、「自然体験」「大人（保育者）の子どもへの関わり方」「リスクマネジメント」など保育を行うにあたって大切なテーマを深く掘り下げ、しっかりと計画を立てて取り組んでいます。ただし子どもをその通りに動かす計画ではなく、一人ひとりの子どもの状態や気質、力に柔軟に寄り添い、その子なりのペースでの成長を見込める計画です。多くの見学者、実習生には、そういった野外保育の考え方やそこで過ごす子どもたちの育ちを実際に見ることで実感していただくことができます。

第13回「富士見の日」子供達につなげよう富士見の日

富士山を望めることから名付けられた富士見町が、より地域に愛される町となるように「フジミ」と読む語呂合わせから2月23日を「富士見の日」としました。

今年は、2月25日（日曜日）に「富士見の日」イベントを開催します！お誘い合わせでご参加ください。

【お問い合わせ先】富士見町観光協会 【電話番号】62-5757 または 産業課 商工観光係
【電話番号】62-9228

姉妹町 西伊豆だより

豆まきしましたか お菓子天国西伊豆町田子地区の節分

「福は内、鬼は外！」2月3日は、雑節の一つ節分ですが、西伊豆町田子地区の節分は少し変わっています。子どもたちが、「豆まきましたか～」と各家庭1軒1軒を歩き回り、豆と一緒に『お菓子』などをまいて貰います。子どもたちは、ゴミ袋いっぱいにお菓子を持って時季外れのサンタクロースのように地区内を歩きます。

かつて、田子地区は鰯の町として栄えたことから、子どもたちが集まる様子を魚群に見立てて豊漁を祈願したのが始まりとされています。ちなみに田子地区の子どもでなければお菓子は貰えません。

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一、かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一、心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一、教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一、仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一、思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。

詳しくは、

<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>

の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体：広報ふじみ

単位等：下1段（縦50ミリメートル、横175ミリメートル）

広告料：1回5,000円

広告媒体：町のホームページ（町民のページ）

単位等：トップページ（縦60ピクセル、横150ピクセル）

広告料：月額5,000円

広報ふじみあとがき

町の人口と世帯数

平成30年1月1日現在（前月比）

住民基本台帳人口

男性：7,261人（13人減少）

女性：7,524人（22人減少）

合計：14,785人（35人減少）

世帯：5,948世帯（10世帯減少）

発行日

平成30年1月1日

編集・発行

富士見町総務課

郵便番号：399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

電話番号：0266-62-2250（代表）

ファクス番号：0266-62-4481

ホームページ：

<http://www.town.fujimi.lg.jp>

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター

TEL 0120-890-422